



独立行政法人 国立病院機構
京都医療センター

National Hospital Organization Kyoto Medical Center
文字サイズ



臨床研究センター予防医学研究室 学術研究発表会 2016

於：独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
新中央診療棟 4F 多目的ホール

日時：2016年12月10日（土）11：00～17：00

11:00～11:50 一般発表1 (発表8分, 質疑応答2分)

進行係: 二連木 晋輔 (京都医療センター 予防医学研究室)

1. 妊婦の栄養研究 –胎児期環境とエピジェネティクスを考える–

¹兵庫県立大学 大学院環境人間学研究科, ²京都医療センター 予防医学研究室
³京都医療センター産科婦人科
林育代^{1,2}, 湊聡美^{1,2}, 鈴木麻希^{1,2}, 能瀬陽子^{1,2}, 住友文², 二連木晋輔², 津崎こころ²
坂根直樹², 住友理浩³, 高倉賢二³, 永井成美¹

2. 妊娠期における非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の発症リスクに関する研究

¹兵庫県立大学 大学院環境人間学研究科, ²京都医療センター 予防医学研究室
湊聡美^{1,2}, 林育代^{1,2}, 鈴木麻希^{1,2}, 能瀬陽子^{1,2}, 住友文², 坂根 直樹², 永井成美¹

3. 透析予防ポーションコントロールプレートを用いた介入研究: 指導者育成編

¹京都医療センター 予防医学研究室, ²蒲郡市民病院, ³至学館大学
山内恵子¹, 坂根直樹¹, 山内崇裕², 井上啓子³

4. 糖尿病における終末糖化産物 (AGEs) を低減させる食事: VINTAGE 研究

¹京都医療センター 予防医学研究室
鋤納心¹

5. ストレスチェックと特定問診との関連について

¹京都医療センター 予防医学研究室
高橋かおる¹, 菅沼彰子¹, 鋤納心¹, 坂根直樹¹

11:50～12:30 休憩とランチの説明 (40分)

ランチ: 7歳若返るランチ
¹京都医療センター 予防医学研究室
河口八重子¹

12:30～13:10 ランチョンセミナー (発表15分, 質疑応答5分)

進行係: 坂根 直樹 (京都医療センター 予防医学研究室)

1. 健常高齢者のロコモ・認知症予防を目的とした介入研究

¹兵庫県立大学 環境人間学部, ²京都医療センター 予防医学研究室
³京都産業大学
永井 成美¹, 坂根 直樹², 森谷 敏夫³

2. 五感ディスプレイを使って食認知メカニズムを探る

¹農業・食品産業技術総合研究機構
和田有史¹

13:10～13:20 休憩 (10分)

13:20~14:00 一般発表2 (発表8分, 質疑応答2分)

進行係: 藤原真治 (美馬市国民健康保険木屋平診療所)

1. 内分泌代謝性疾患研修会 (コメディカル対象: 坂根先生主催) の報告

¹ポロンカンパニー株式会社, ²京都医療センター 予防医学研究室
中川康司^{1,2}

2. 奈良県M町における運動習慣実態調査

¹京都医療センター 予防医学研究室
同道正行¹

3. 高齢糖尿病患者に対するポールウォーキングの安全性と有効性についての検討

¹京都医療センター 予防医学研究室
松井浩¹

4. 褐色脂肪の描出化研究 (Adipose tissue Imaging with New Ultrasound technique; AINU プロジェクト)

¹京都医療センター 予防医学研究室, ²城東整形外科, ³横浜市立大学
⁴東京医科大学, ⁵北海道大学
二連木晋輔¹, 皆川洋至², 宮武和馬³, 浜岡隆文⁴, 斉藤昌之⁵, 坂根直樹¹

14:00~14:20 休憩 (20分)

14:20~15:00 一般発表2 (発表8分, 質疑応答2分)

進行係: 河口八重子 (京都医療センター 予防医学研究室)

1. PARCS 研究および HIGH-QOL 研究

¹京都医療センター 糖尿病センター
村田敬¹

2. 1型糖尿病患者における心理的適応への要因の検討

¹独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院
山田明子¹

3. 地域の中核病院におけるインスリンポンプトレーニング 2016

¹株式会社麻生 飯塚病院
山田靖子¹

4. 1型糖尿病女性のサルコペニア (握力の検討)

¹京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究室, ²京都医療センター 糖尿病センター
吉岡ふみ¹, 二連木晋輔¹, 河口八重子¹, 鋤納心¹, 津崎ころろ¹, 菅沼彰子¹
同道正行¹, 村田敬², 山田和範², 坂根直樹¹

15:00～15:20 休憩 (20分)

15:20～16:00 一般発表3 (発表8分, 質疑応答2分)

進行係: 岡田浩 (京都医療センター 予防医学研究室)

1. 買い物弱者の実態調査と対策: 美馬研究

¹美馬市国民健康保険木屋平診療所, ²京都医療センター 予防医学研究室
藤原真治^{1,2}, 同道正行², 津崎こころ², 小谷和彦², 坂根直樹²

2. STOP-Dementia (STudy of Outcome and aPolipoproteins in Dementia: a single-center, prospective, observational study) プロジェクト: 神経内科との共同研究

¹京都医療センター 予防医学研究室, ²京都医療センター 神経内科
二連木晋輔¹, 大谷良², 津崎こころ¹, 坂根直樹¹

3. 薬歴管理業務におけるアナログ対デジタルの比較考察

¹ヤマグチ薬局
山口晴巨¹

4. 薬局における禁煙支援 (FINE プロジェクト) 始動に向けて

¹大阪薬科大学 臨床実践薬学研究室, ²株式会社ココカラファインヘルスケア調剤事業部
³地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター, ⁴京都医療センター 予防医学研究室
恩田光子¹, 堀口道子², 増居志津子³, 中村正和³, 坂根直樹⁴

16:00～16:15 休憩 (15分)

16:15～16:35 特別講演 (発表20分)

1. 生活習慣病との関連における実践的幸福論 その1

¹おおい町国民健康保険名田庄診療所
中村伸一¹

16:35～17:00 総括 (発表25分)

糖尿病予防研究の進歩: JDPP、J-DOIT1

インクレチンを介した内臓脂肪を低減させる食事介入試験: MiniEgg 研究

メキシコにおける肥満対策: JICA プロジェクト

臨床研究と看護研究のサポートと新たな統計解析 (菅沼)

¹京都医療センター予防医学研究室
坂根直樹¹

表 予防医学研究室 2016 年

月	内容
1 月	
2 月	内分泌代謝専門医研修会 ATTD (ミラノ、坂根、村田) スタッフのための糖尿病教室「総集編」
3 月	褐色脂肪組織の描出化研究 (AINU プロジェクト) スタート 加東市サンサンチャレンジ表彰
4 月	科研費に採択 (河口、二連木) さんまの会
5 月	ICO (カナダ、バンクーバー、坂根) 糖尿病学会 (京都; 村田、吉岡、山内、高橋) 産業衛生学会 (山内)
6 月	スタッフのための糖尿病教室「糖質制限」
7 月	JICA の民間技術普及促進事業に採択 (メキシコ) 臨床研究実践セミナー 本糖尿病療養指導集会 (山内)
8 月	臨床研究実践セミナー
9 月	スタッフのための糖尿病教室「性格タイプ」
10 月	肥満学会 (東京; 山内) 肥満症予防協会講演 内分泌代謝性疾患研修会 (坂根、中川) 学術振興会特別研究員に採択 (二連木) AASD (台北; 同道、高橋、岡田、山田靖子、藤原、鋤納) 日本くすりと糖尿病学会学術集会 (岡田)
11 月	科研費に採択 (岡田、宮崎) 1 型糖尿病研究会 (村田、坂根) 花王健康科学・成果報告会 (宮崎、時間運動学) 先進糖尿病研究会 (村田)
12 月	スタッフのための糖尿病教室「運動」 認知症学会 (東京; 坂根) 近畿糖尿病教育フォーラム 予防医学研究室学術発表会 日本糖尿病性腎症研究会 (山内) 看護科学学会 (片山)

ATTD (国際糖尿病治療テクノロジー学会)、ICO (国際肥満学会)、AASD (アジア糖尿病学会)、JICA の民間技術普及促進事業に採択 (メキシコでの「スマホアプリ肥満解消プログラム」)

研究費

基盤研究 (B)

- ・ 胎内から始める食育のための 妊娠期栄養とエピゲノム情報のデータベース構築
(永井、分担 ; 坂根)

基盤研究 (C)

- ・ 河口八重子 : 独身男性のための心血管疾患予防食事支援プログラムの開発と効果検証
- ・ 坂根直樹 : 家族や地域を巻き込んだ糖尿病予防プログラムの開発と効果検証
- ・ 鋤納心 : 地域食材を生かした合併症予防のための糖尿病食 (低 AGE 食) レシピの開発と効果検証
- ・ 佐野喜子 : カーボカウントのアドヒアランスを高める食事指導プログラムの開発と効果・検証
- ・ 津崎こころ : 時間栄養学を活用した交代勤務者のための食事調査票と指導法開発についての研究
- ・ 片山知美 : 終の暮らしといのちを支えるホームホスピスの生活者の QOL と QOD に影響を与える要因
- ・ 山内恵子 : ポーションコントロールプレートを活用した教育効果の評価及び普及に関する研究
- ・ 岡田浩 : 「健康サポート薬局」における簡便で有効な健康支援プログラムの開発と効果の検証
- ・ 宮崎亮 : サルコペニア予防を目指した時間運動学に基づく運動プログラムの開発と効果検証
- ・ 健康行動理論に基づく風邪症状患者面談アルゴリズムの作成と有効性の検証
(恩田分担 ; 坂根)

若手研究 (B)

- ・ 二連木晋輔 : 運動は褐色脂肪を増量するか : 脂質代謝異常症への治療応用

業績 (英文)

1. Ishiyama N, Sakamaki K, Shimomura Y, Kotani K, Tsuzaki K, Sakane N, Miyashita K, Fukamachi I, Kobayashi J, Stanhope KL, Havel PJ, Kamachi K, Tanaka A, Tokita Y, Machida T, Murakami M, Nakajima K. Lipoprotein lipase does not increase significantly in the postprandial plasma. *Clin Chim Acta*. 2016 Nov 28. pii: S0009-8981(16)30489-2. doi: 10.1016/j.cca.2016.11.035. [Epub ahead of print]
2. Murata T, Tsuzaki K, Nirengi S, Watanabe T, Mizutani Y, Okada H, Tsukamoto M, Odori S, Nakagawachi R, Kawaguchi Y, Yoshioka F, Yamada K, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Sakane N. Diagnostic accuracy of the anti-glutamic acid decarboxylase antibody in type 1 diabetes mellitus: comparison between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay. *J Diabetes Investig*. 2016 Nov 10. doi: 10.1111/jdi.12594. [Epub ahead of print]
3. Nirengi S, Amagasa S, Homma T, Yoneshiro T, Matsumiya S, Kurosawa Y, Sakane N, Ebi K, Saito M, Hamaoka T. Daily ingestion of catechin-rich beverage increases brown adipose tissue density and decreases extramyocellular lipids in healthy young women. *Springerplus*. 2016 Aug 18;5(1):1363. doi: 10.1186/s40064-016-3029-0.
4. Sakane N, Sato J, Tsushita K, Tsujii S, Kotani K, Tominaga M, Kawazu S, Sato Y, Usui T, Kamae I, Yoshida T, Kiyohara Y, Sato S, Tsuzaki K, Takahashi K, Kuzuya H; Japan Diabetes Prevention Program (JDPP) Research Group. Effects of lifestyle intervention on weight and metabolic parameters in patients with impaired glucose tolerance related to beta-3 adrenergic receptor gene polymorphism Trp64Arg(C/T): Results from the Japan Diabetes Prevention Program. *J Diabetes Investig*. 2016 May;7(3):338-42. doi: 10.1111/jdi.12426.
5. Nirengi S, Homma T, Inoue N, Sato H, Yoneshiro T, Matsushita M, Kameya T, Sugie H, Tsuzaki K, Saito M, Sakane N, Kurosawa Y, Hamaoka T. Assessment of human brown adipose tissue density during daily ingestion of thermogenic capsinoids using near-infrared time-resolved spectroscopy. *J Biomed Opt*. 2016 Sep;21(9):091305. doi: 10.1117/1.JBO.21.9.091305.
6. Nirengi S, Fujibayashi M, Tsuzaki K, Furuno S, Uchibe A, Kawase Y, Kotani K, Sakane N. ACTN3 GENE R577X POLYMORPHISM ASSOCIATED WITH HIGH-DENSITY LIPOPROTEIN CHOLESTEROL AND ADIPONECTIN IN RUGBY PLAYERS. *Endocr Pract*. 2016 Jul;22(7):786-90. doi: 10.4158/EP15963.OR.
7. Tsuzaki K, Kotani K, Yamada K, Sakane N. Fasting Lipoprotein Lipase Protein Levels Can Predict a Postmeal Increment of Triglyceride Levels in Fasting Normohypertriglyceridemic Subjects. *J Clin Lab Anal*. 2016 Sep;30(5):404-7. doi: 10.1002/jcla.21869.
8. Sukino S, Kotani K, Nirengi S, Gugliucci A, Caccavello R, Tsuzaki K, Kawaguchi Y, Takahashi K, Egawa K, Shibata H, Yoshimura M, Kitagawa Y, Sakane N. Dietary Intake of Vitamin D Is Related to Blood Levels of Advanced Glycation End Products during a Weight Loss Program in Obese Women. *J Biomed* 2016; 1:1-4. doi:10.7150/jbm.16497.
9. Kawaguchi Y, Nirengi S, Kotani K, Somei J, Kawamoto T, Tsuzaki K, Yonei Y, Sakane N. Mushroom Intake and Advanced Glycation End Products in the Skin among Community-Dwelling Elderly Subjects: Preliminary Data. *J Biomed* 2017; 2(1):8-11. doi:10.7150/jbm.17587.
10. Sakane N. Diabetes prevention in the real world: Insights from the JDPP and J-DOIT1. *Journal of General and Family Medicine* (accepted)

臨床研究支援一覧（菅沼担当）

- ・「上部消化管内視鏡検査(EGD)における前処置法(ジメチコン水)の検討」、(長崎沙耶香, 北野由美, 笹原道子, 松岡律子, 田口 いくみ, 杉本 那央子, 大森 富美子, 坂井 洋子, 水本 吉則, 米田 俊貴, 岩本 諭, 江坂 直樹, 遠藤 文司, 太田 義之, 下釜 翼, 前川 高天, 勝島 慎二, 坂根 直樹): 日本消化器内視鏡技師会会報 54 号 Page84-85(2015. 03)
- ・「パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) に関する研究」、(1-4 病棟グループ)
- ・「外来化学療法センターでの実習における学生の学び(第 1~3 報)」~イメージマップを用いた分析~ (田中雅子、岩松美穂、片岡佐由美、榎本里香)
- ・「心臓外科術後患者におけるせん妄の発症要因の検討」、(ICU グループ)
- ・看護部タイムスタディ
- ・「鎮静下での外来上部内視鏡を受ける患者への覚醒評価基準の導入に伴う安全な帰宅への取り組み」、(北野由美、浅川英輝、上田純一、 森そのみ、松岡律子、田口いくみ、笹原道子、坂井洋子)
- ・看護体制評価、(ICU 西田和美)
- ・身体拘束、(救急救命センター森口)
- ・教育担当看護師長の教育計画・研修案構築に向けた教育学習ニーズ調査、(三井佐代子看護部長)
- ・点滴注射時の指差呼称による確認行動定着のへの取り組み
- ・「児童虐待ハイリスク支援要因に関する調査」、(橋本恵、八木美由紀、田仲有季子、中島佳奈)
- ・「自己抜去・自己抜管リスクアセスメントシート作成にむけて」、(深川哲嗣)
- ・「働き方の多様性をチームに活かした成果につなげる為に看護師長が持つべき視点」、(藤原恵子)
- ・「職員満足度」、 (西谷保)
- ・「積極的なコミュニケーションにより医師との連携不足を改善する」、(田中美佳、北村、森田、富田 特別室個室病棟)
- ・「婦人科癌術後のリンパ浮腫予防指導の効果」、(2-3 病棟 河瀬真弓、松本悠見、松尾さやか)
- ・「糖尿病患者の合併症予防と進展防止に向けた生活習慣態度尺度の開発と信頼性・妥当性の検証」、(1-7 病棟 佐々木勇)
- ・「組織学的絨毛羊膜炎の早期診断バイオマーカーとしてのプレセプシンの有用性」(基盤 C)、(小児科医 北 誠)
- ・「急性期一般病棟の看護師の終末期がん患者のケア」、(緩和ケア)

